

# 日本デザイン学会 第 54 回研究発表大会 口頭発表要領

## グッドプレゼンテーション賞について

本大会では、前年に引き続き、「研究のレベルアップ」を目的として、模範的な研究発表に「グッドプレゼンテーション賞」を授与します。選考については、学会理事を中心とした実行委員があたり、主として概要を対象に研究内容を精査し、新たな知見やオリジナリティの有無をチェックします。もちろん、概要の体裁が要領に則しているかどうか、大会中の発表や質疑応答の様子も審査の対象となります（座長の意見を参考とします）。発表者の皆様におきましては奮ってご準備下さい。なお、閉会式で受賞者を発表する予定です。ぜひ閉会式にご参加下さるようお願いいたします。

## ■ 当日の発表準備について

- 発表者は自身の発表までに「発表者受付」にて受付を済ませておくこと。
- 運営の都合上、発表機材は基本的に、会場設置のプロジェクタと発表者持参の PC（外部モニタ VGA 出力端子 D-Sub15 ピン付、変換アダプタが必要な場合は各自準備のこと）に限ります。発表者は自身が発表する時間帯（コマ）の開始前までに、休憩時間等を利用し、プロジェクタ等の会場設置機材と持参の PC 等の接続チェックをおこなっておくこと。
- 自身の発表コマの開始 5 分前までに会場へ入ること。
- 発表開始 1 分前までに座長へ来場と接続チェックの報告を済ませること。問題があれば座長に申し出ること。

## ■ 発表形式について

- 発表時間は一研究につき発表 15 分、質疑 5 分、計 20 分とする（第一鈴：発表開始後 13 分、第二鈴：15 分、第三鈴：20 分）。原則として第二鈴で発表を中断し、質疑に入る。

## ■ 質疑について

- 活発な質疑とスムーズな進行が成立するよう、座長の指示に従うとともに、発表者相互に協力すること。なお、質疑開始にあたり、座長から概要や発表に関する不備を指摘される場合がある。質問や意見に対しては、短時間で的確に回答するよう心がけること。

## ■ 注意事項

下記事項については、すみやかに座長へ申し出ること。

## 連続発表について

連続発表においては、原則として発表時間と質疑時間をそれぞれまとめることができる。例えば、二件の連続発表の場合、発表時間 30 分（15 分×2）、質疑時間 10 分（5 分×2）とする。なお、連続発表であっても一人の発表時

間は約 15 分とする。

## 発表者の欠席・遅刻・変更について

発表者が欠席または遅刻した場合は発表キャンセルとみなす。よって、該当する概要は公的な研究発表としての効力を失する。ただし、遅刻については、特別な事情を証明する文書等がある場合に限り、発表を許可する場合もあり得る。

## 共同研究者の発表について

発表者予定者（筆頭者）の都合により、連名者である共同研究者が発表を申し出た場合、座長はその理由を確認した上で、発表を許可することができる。なお、発表予定者および共同研究者以外の発表は認められない。

日本デザイン学会第 54 回研究発表大会プログラム委員